



蕾^{つぼみ} の中に

十日町市
Tokamachi
ぎかい
だより

令和2年2月10日発行

CONTENTS

No.63

議会レポート	2P
会派通信	3P
一般質問	4-9P
議案の審議結果	10P
議会をPick-Up! 12月定例会	11P

(写真：十日町総合高校写真部)

総務文教常任委員会



11月に行った当委員会の管外視察について報告します。

①東京都文京区

文京区青少年プラザは、中高生を主な対象に、放課後の活動拠点として整備されました。運営は子どもの活動支援に取り組むNPOに委託され、中高生を運営スタッフに積極的に受け入れるなど、利用者が主体的に参加するよう工夫されています。

②京都市南区

小学校17通学区を7通学区に再編した取り組みと、再編と並行導入した「地域とともにある学校づくり」を目指したコミ



文京区青少年プラザにて

ユニティスクールの成果を視察し、廃止された施設の活用状況を伺いました。

③静岡県磐田市

自校にない部活でも希望の種目ができるよう中学生に向け「磐田市スポーツ部活」を実施しています。生徒の減少で部活動の選択肢が限られ、また教師の多忙化が問題となる中で、その取り組みは参考になります。

また、ラグビーなどの社会人スポーツチームや大学等と連携し、産官学一体となつてスポーツによる地域活性化に取り組んでいます。

産業建設常任委員会



昨年9月に兵庫県神戸市で指定管理の先進事例を視察しました。同じ事業でも事業主体が行政か民間企業かによって、利用者満足度が違っている現状があります。

今回の視察先「峰山高原リゾート」は、指定管理者がホテル事業にまつわるスキー事業やグランピングやキャンプなどの新規事業提案を行い、町もそれに応え、投資金額の起債の返済金額約2.6億円を指定管理者が10年で返済し、毎年プラスαで営業利益の20%を町に納める契約を結んでいました。まさに民間のノ



グランピングを視察

ウハウを十分に生かし、町も指定管理者もやる気と責任でいっぱいでした。営業広告にしっかりと力を入れ、SNSはもちろん、インパクトのあるテレビCMも放映していました。そのほか、地域住民との関わりとして、屋外スペースを利用し地域の飲食店の出店を要請しながら、地域に愛される施設づくりに取り組んでいました。

今後、当市も指定管理者制度の運用や活用については、現状把握、役割分担をしっかりと分析調査し、市民への有効なサービスを提供すべきと思います。

厚生常任委員会



平成から令和へと時代が変わる中で、厚生常任委員会は新しいメンバーと共にスタートいたしました。初仕事として待っていたのが継続審査となつた「十日町市出生祝金支給に関する条例の廃止について」の取り組みであり、各委員の活発な発言と理解のもと、無事に審査を終えました。

施設整備の面では、寒い冬の雪の日も雨の日でも安心して思い切り遊べる子どもたちのための施設が十日町市児童センター「めぐらんど」として8月に完成しました。また、11月には十日町市医

療福祉総合センター、さらに12月には認定こども園あおのもりが完成しました。今まで希望であり夢であつたことが実現する喜びを、今生きている現実の中で皆さまとともに共鳴できることが、どんなに素晴らしいものか、感慨もひとしおであります。

本年も一層の市民生活上や子育て環境整備などが望まれる中で、十日町病院建設工事のさらなる進捗、十日町看護専門学校の開校などが予定されています。行政視察も含めた厚生常任委員会の活動に期待をする年であります。



認定こども園あおのもり視察

会派通信

礎 (いしづえ)



スタイルで、みんなが輪になりさまざまなテーマについて対話したり、グループ作業を行ったりするほか、遊びや自立学習、協働学習等にも力を入れている。

児童・生徒の減少により教員の確保や適正配置が困難、複式学級も解消したい等の理由から学区再編案が示されたが、賛否が分かれている。そこで当会派は、長野県佐久穂町で4月に開校したイエナプラン教育校の大日向小学校を視察した。

イエナプラン教育は1〜3年生、4〜6年生の異年齢児童30人程で学級編成されている。年少、年中、年長それぞれの立場を学級内で経験する中で、協調性やコミュニケーション能力、自主性、社会性等を高めようとしている。

教室はサロンのような



イエナプランは他者との関係からの「学び」を大切にします

自由の風



自由の風（藤巻誠、庭野政義、吉村重敏、根津年夫、山口康司）の活動を報告します。

会派で年に数回の行政視察を行っています。議員は他の自治体の優れた取り組みを研修、そして交流の機会を持ち、情報交換に努めています。

同じ縄文文化を持つ函館市、山形市、長野県茅野市を訪れ、縄文文化の発信、縄文の国宝を使った観光施策、土産等の開発、共通する課題について意見交換を行いました。

瀬戸内国際芸術祭を訪れました。山間地で開催される大地の芸術祭とは違う海、そして小さな

島々に展開した越後妻有地域とは違った貴重な作品を見ることができました。移動手段は船のみで、同乗したお客さま同士の交流も魅力の一つでした。愛知県犬山市を訪れました。議会改革の先進事例が数多くあり、当市議会も参考にすべき点が多く、大変意義ある研修でした。

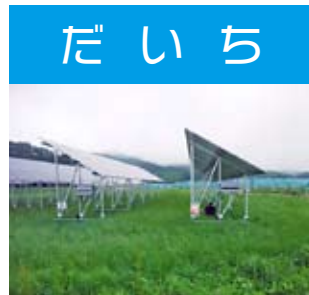
そのほか、市職員との勉強会、民間のいろいろな団体の皆さまとの研修、交流、意見交換の場を持っています。

これからも議会の活性化に取り組んでいきます。



瀬戸内の移動手段は船

だいち



では、森林資源を余すことなく活用する、循環型森林経営を実践し、人と自然を未来につなぐ地域社会の実現に向けて取り組む行政運営に深い感銘を受けました。

産業振興策・自然エネルギー―事業など、当市の重点政策実現に向けて、市民の皆さまと一緒に考え未来を引き継ぐ子どもたちに誇れる十日町市の構築に向けこれからも引き続き活動してまいります。

10月には、全国唯一の財政再生基準を超え財政再生団体となった夕張市を視察し、財政健全化、議会チェック、市民との情報共有の重要性を改めて実感しました。下川町



土湯温泉の地熱発電



松代病院の存続を強く望む 災害に対する強靱化を望む

村山達也 議員



質問 ①松代病院は絶対になくてはならない重要な病院と考えるが、市の考えと今後の対応を伺う。②持続可能な応援体制の構築を検討していただきたい。③十日町病院との連携を強化し、医療体制を維持していただきたい。④災害から市民を守る強い十日町市を作りたい。⑤大雪災害に備える除雪体制の維持を人手不足の観点からどう考えるか。⑥避難所へのWi-Fi整備等を含め情報の強靱化を望む。

答弁 ①松代病院は山間豪雪地において地域医療を担う重要な医療機関であることから、今後もなくすことのないよう、県立での継続した運営を訴えていきます。広大な地域に集落が点在し、豪雪や高齢化等の地域の特殊性を考慮せずに病院の統廃合や地域医療体制を縮小することなどないよう、県に要請していきます。②病院、医療を支える住民を挙げた取り組みは非常に重要です。活動に対する経費の補助やサポート体制も維持していきたいと思っています。③十日町病院と松代病院等との連携が地域医療の砦であることを訴え、安心できる医療提供体制を確保したいと思います。④市では情報収集、情報伝達、デジタル防災無線の運



地域の命を守る大切な松代病院

用面も頑張りたいと思います。地域の自助、共助のアップにより、市との連携体制をさらに強化いただければと思います。⑤人員の確保等の負担軽減を図るため、除雪基本料前払い制度を導入しています。今年度は単価上昇や実績を勘案し、基本料を割り増ししました。⑥現在49カ所の指定避難所のうち1カ所でWi-Fiが整備されています。今後は、携帯電話充電のための電源確保を最優先とし、その後にWi-Fiの整備について検討します。各避難所への情報端末整備による避難所同士の情報共有については、今後検討したいと思います。



どうなる? 国保川西診療所 林業の現状と振興策

星名大輔 議員



質問 これからの国保川西診療所のあり方を伺う。医師が招聘できない場合は休診するのか。

答弁 国保川西診療所内の休日一次救急診療センターは、来年度から医療福祉総合センターに移転します。現在勤務されている医師は、今年度で定年退職されることから、市では後任の医師の採用に向け、広く公募し、県内や首都圏の各医療関係団体、地元出身者、

当市に縁のある医師のもとに直接出向くなど、医師の紹介や当地への着任のお願いをしています。後任の医師は決まっていますが、手段を尽くして医師確保に努めます。医師が見つからない場合、一時的な休診も想定されますが、診療の維持、継続に全力を挙げて取り組みます。地域における診療所機能は当然守られなければなりません。昨年10月に新潟大学と設立に合意した寄附講座の中でも今後の地域医療のあり方をしっかりと議論したいと思っています。

質問 林業の現状と振興策を伺う。森林環境譲与税を財源に林業事業体の強靱化を図る考えはあるか。

答弁 平成28年度から年平均34分の市有林が整備され、私有林は市が助成し、

平成26年度から約214軒整備されました。森林環境譲与税を充てる新たな森林管理の仕組みは、採算性の低い私有林の経営管理を市が受託し、地球温暖化防止や災害防止などを進めるものです。

今年度はモデル地区を選定し、来年度以降に意向調査を実施した上で、順番に整備を進めていきます。また、作業道の整備や間伐材の運搬助成等も実施します。森林は、癒やし、環境保全、木育などの機能も高く評価されており、こうした取り組みにより、人々を魅了し続ける美しい里山を守り、つくりたいと思います。



国保川西診療所（高原田）



雪対策（流雪溝・消雪パイプ） の現状と課題について

根津 年夫 議員



質問 流雪溝について①平日と休日別に利用状況を調査しているか。②現状の時間割では利用できないという声がある。効率的な運用をするためにルール・利用時間の見直しが必要ではないか。③投雪作業が困難な高齢者への支援策が必要ではないか。

答弁 ①調査はしていませんが、流雪溝の運営を担う住民組織の流雪溝運営協議会と協働しながら把握に努めたいと考えています。②各地区の利用上の要望などは流雪溝運営協議会が流雪溝の運営に反映しているものと認識をしています。③市としても利用ニーズの把握に努める必要があると考えます。流雪溝の運用ルールの見直しには、関係機関との調整や、安全面、人材面、費用面の検討に加え、利用者の理解が必要だと思います。これらを踏まえて、流雪溝運営協議会と運用ルールの改善を検討し、必要に応じて関係機関との調整を始めたいと思います。③住民税非課税で、親族からの支援がなく、自力での屋根の雪おろしが困難な在宅高齢者世帯等に、雪処理券の配布により除排雪費用の一

部を援助する要援護世帯除排雪援助事業を実施しています。

質問 消雪パイプについて①新規の設置費用について行政と地域の負担割合は、どうなっているか。②消雪パイプ設置費用のシミュレーションはできるか。③交通量の多い市道への設置計画はあるか。

答弁 ①設置工事費から国庫補助金等を差し引いた費用の50%を、地元負担としてお願いしています。②問い合わせただければ、概算事業費でのおおよその地元負担をお示しできます。③具体的に設置計画のある道路はありませんが、機械除雪の排雪場所がない等の状況も踏まえて、消雪パイプの設置も検討しなければならないと考えます。



中条第二病院の経過と対応 新年度予算は市民の暮らし優先に

安保 寿隆 議員



質問 ①市は昨年1月、精神病床確保の要望を行い、県は「精神医療提供体制あり方検討会」を設置したが、現在どのような検討がされているか。②市の要望に対する県の受け止め方はどうか。③松代病院を無償診療所化とか精神病院へなどの話が出ていると聞くが、とんでもない。市長の見解はどうか。

答弁 ①検討会では、目指すべき精神医療提供体制のイメージが提示され、具体的な検討が現在なされています。12月には、津南町長と地域の実情や課題を検討会で説明し、精神病床を有する医療機関の整備及び外来機能の充実等を要望したところです。②豪雪、高齢化などの特殊性や、これまで多額の補助で中条第二病院を支援してきたということも伝えました。この実情を踏まえた中で精神医療提供体制の検討がなされるものと理解しています。③病院は、人口減少という切り口で議論するわけにはいきません。知事として向き合って、地域の特殊性などを訴えていきたいと思っています。

質問 平成31年度予算は徹底的見直しと言って、市民の暮らし予算を削り、多数の苦情が寄せられている。①市展の会場変更、予算の大幅増額をすべき

市美術展の出品者数・出品点数

	R1	H30	H29	H28
出品者数	165	201	215	233
出品点数	222	259	277	299

※H28年は市民体育館、29年以降は文化ホール
出品者数で68人、出品数で77品減っている。

(安保寿隆議員作成)

と考えるがどうか。②人工透析患者の送迎デマンドバスの具体化はどうか。

答弁 ①市展の会場は、市美術展運営委員会が決定しています。芸術を愛する皆さんから主体的に取り組んでいただき、本当にありがたいと思っています。予算は、どこを調整するかは、ぜひ現場で頑張っていたきたいと思っています。②送迎デマンドバスの運行には至っていませんが、タクシーへの助成や交通費の助成を、かなり高いレベルまで対応しています。地域交通の課題は、本当に解決しなければならぬ大きなものと考えています。



学校統廃合と教育予算、ブランド米品質確保対策について

鈴木和雄 議員



質問 ①学校統廃合説明会では、学校がなくなる不安の声が多く聞かれ、方針とはかけ離れている。文科省の学校統廃合の手引きという「小規模校を存続させる場合の教育の充実」を検討したのか。②学校教育法では学校経費は設置者の負担となっているが、保護者負担があつて義務教育が成り立っている。どう改善するのか。③ブランド米魚沼コシヒカリの品質確保をどのように進めていくのか。

答弁 ①第2次学区適正化に関する方針は、学区適正化検討委員会による答申を尊重しつつ、教育委員会で審議の上、決定したものです。検討委員会では、国の学校規模適正化等の資料により説明を行い、その上で、小学校は複式学級が解消となる1学年1学級以上を基本方針に、中学校は、学級数の確保により教員配置や学習環境をより整えることによつて子どもたちの可能性やチャンスの広がりが期待される1学年2学級以上を基本方針としました。少子化の中、子どもたちにとつて、より望ましい教育環境を目指し策定したものですので、小規模校の存続を前提とした議論は行っていないとします。②義務教育で無償とされる範囲は、授業料を

徴収しないことと、教科書の無償給与を意味するものです。なお、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対しては、必要な支援をしています。③県、JAなど関係機関と連携し、土づくりの推進等5つの技術対策を行うなど、異常気象に対応した米づくりを進めます。さらに、田植え時期の分散によるリスク低減の働きかけも行いたいと思います。また、異常気象の緊急情報を的確に生産者に届け、対策を実践いただくよう、配信メール受信者を増やすなど、きめ細やかな情報提供を進めます。

●JA十日町 令和元年度産米品種別実績 2019.11.29現在 単位:30kg箇

銘 柄	集 荷 実 績				集荷率	元年産1等比率	30年産1等比率
	1 等	2 等	3 等	規格外			
コシヒカリ	110,557	165,426	4,961	1,005	99.6%	39.2%	88.8%
こしいぶき	6,096	1,222			97.4%	83.3%	94.6%
新 之 助	913			4	88.8%	99.6%	90.2%
あきだわら	1,757	7,835	58		99.3%	18.2%	6.7%
つきあかり	130	8,703	721	11	99.7%	1.4%	18.7%
あきたこまち	259	34			89.9%	88.4%	71.2%

(鈴木和雄議員まとめ)



病院をなくさないで雪対策について

滝沢 繁 議員



質問 県立松代病院が再編統合の実名公表されました。地域の医療機関がなくなると住民が地域に住み継がれるかどうかの大問題。高齢化率、交通事情、豪雪地、なくしてはならない病院です。市長を先頭に運動することが大事と思うがいかがですか。

答弁 厚生労働省が個別病院名を公表したことは、地域の実情を考慮しないものであり、唐突なものと感じています。松代病院は、上越市、柏崎市などの利用者もあり、山間豪雪地で地域に根差した医療を提供する上で必要不可欠な役割を担っていることから、なくてはならない病院です。今後も県立で運営されるべきであると考えています。

質問 積雪深の違いに合わせた施策が大事と思うがいかがですか。

答弁 地域内でも積雪量に差があることなどから、詳細な基準を設けることが困難なため、市内5カ所の最大積雪深の平均による一律の基準としています。同じ地域内でも雪の降り方、屋根面積等も異なること、使用した燃料費等が融雪屋根用か、生活用かを判別できないほか、積雪量に応じた使用状況とならず、雪処理券利用者との公平性を欠くことから、積雪量だけを理由に

●要援護世帯除排雪援助事業 (令和元年度の対象者数)

	合計	内訳 (地域)				
		十日町	川西	中里	松代	松之山
雪処理券対象世帯	1,102	677	111	95	120	99
対象外となった世帯	335	231	30	30	20	24
融雪屋根対象世帯	357	229	45	14	47	22
対象外となった世帯	173	117	23	4	21	8

(滝沢繁議員作成)

地域ごとに差をつけることは考えていません。
質問 要援護世帯除排雪援助事業で、対象が非課税世帯、70歳以上となったが、見直して何人が対象外となったのか。真に必要な人は救うとされたことはありがたいが、何人なのか。
答弁 今回の要綱改正によつて雪処理券では335世帯、融雪屋根は173世帯の方々が対象外になりました。真に困つて相談にいられた方々は、雪処理券が13件、融雪屋根は1件です。民生委員及び市でお話を伺い、弾力的な運用により、対応しています。

質問 19号台風災害の実態と本市の対応は。①西大滝ダムの流量が毎秒観測史上最大の8872立方メートルと報じられた。各観測点ではどうか。その大きな差の原因は何か。②各水位観測地点から当市までの今回の到達時間は。③信濃川・千曲川の管轄区間が大臣と両県知事に混在しているが、今後どう対応するのか。④水位観測所を見直すつもりはないか。⑤(仮称)宮中少水力発電所計画に影響はないか。

答弁 ①JR宮中ダムの放流量は、毎秒7398立方メートルが最大で、施設の点検等の際に開放するゲートの流量を加えると、西大滝ダムの数値に近似します。国土交通省や新潟県管理の観測地点は、現状では正確な数値計算ができないと聞いています。なお、河川氾濫の危険性は、流量ではなく水位を基準に降雨量等の情報を考慮して判断します。②氾濫危険水位相当の流量流下時で当市の姿の観測所までの到達時間は、中野市立ヶ花観測所からは5から7時間、津南町宮野原観測所からは0.5から1.5時間です。③信濃川は一体的に国直轄管理が望ましいと考え、要望活動を行っています。④今回の台風被害状況を精査し、必要に応じて水位



19号台風災害への対応と 新年度予算編成を問う

藤巻 誠 議員



崩落した廿日城 (下条地内)

観測所の設置を要望していきます。

⑤河川シミュレーションで、計画高水流量の毎秒9500立方メートルでは、護岸を越流しないことを確認しており、洪水時は発電所の取水口と放水口のゲート閉鎖で施設の安全を確保しますが、今回の増水状況も踏まえ、洪水対策をしつかり検討した上で計画を進めます。

質問 令和2年度予算編成はどんな手法で取り組むのか。

答弁 一般財源の減少に対応した減額配分と新規事業への財源配分を行うことで、めりはりのある予算となるよう編成を進めたいと思っています。

質問 厳しい現実と10年後予測の中、全市的課題となっている地域自治組織ごとの振興策(旧町村ごと・現中学校区ごとの再興ビジョン)づくりを、学校存続策と医療福祉施策を包含、一体化して、官民協働によって作り上げていくではありませんか。10年後に中学校が無くなる地域には、定住者も移住者も増えることはあり得ないという感情と理論を直視し、今こそ行政と議会は地域住民と本格的に協働すべきだ。

答弁 これまでも大きな課題を含む市の重要施策は、所属の枠を超えて横断的な組織の編成を行っています。例えば、総合計画基本構想の選ばれて住み継がれるまちとおかまの実現戦略プラン策定では、関係部局で構成するワーキングチームを設置しています。また、棚田を核とした地域振興の取り組みを円滑に推進するに当たっては、関係課等で構成する連絡協議会を設置するなどの組織体制もあります。今後重要施策については、必要性を確認した上でプロジェクトチーム等の編成は積極的に行いたいと考えています。

地域の学校存続と地域振興への合体プロジェクトについては、学区適正化方針に関する説明会の中でいただいた



来年度こそ本格的な官民協働 地域振興策を

樋口 利明 議員



いま地域に希望「具体策」こそが大事(イメージ写真)

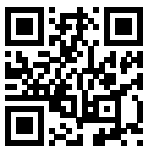
地域のご意見などを総括する中で、さまざまな課題も整理されていくと考え、ご提案の部局横断かつ官民協働のプロジェクトも必要に応じて設置を検討したいと思っています。

東京一極集中という中央集権国家や植民地にならないよう、列強に伍して頑張るんだとの大方針を変えなければというのには議員と全く同感です。その中で地域がどう頑張っていくか、この議論を契機にそういう話が地域からどんどん沸き上がってくるのは本当にありがたいと、それに対しては市でもしっかりと対応しなければと思っています。



ポイント還元事業の普及を 医療・介護情報の有効活用を

小野嶋 哲雄 議員



質問 国策でスタートしたキャッシュレス・消費者還元事業の市民への認知・理解が乏しい、未利用では地域内での損失が大きいと思うが普及の現状は。市民・事業者への利用促進を促しメリットの享受を図るべきでは。

答弁 当事業を契機にキャッシュレスシステムを導入した事業所もあり、事業者には十分周知されていると認識しています。市民の認知度・普及状況の全体像は把握していませんが、報道や商店から情報は広がっていると考えています。また、大地の芸術祭などの外国人観光客対応の点からも、利用しやすい環境を整えていただけると、市報やホームページ等で周知を図りたいと考えています。

質問 限られた医療資源の有効活用を目的に始まったうおぬま・米ねっとカードの普及の現状。市民への再周知・広報による普及の促進を求む。

答弁 医師会を中心とした声かけ活動により、参加事業所は増えていきます。また当市の加入率は他市に比べ低い水準となっていますが、積極的に加入促進に取り組む、7月以降、月平均

「うおぬま・米ねっと」加入で 限られた医療資源の有効活用

【安全な「医療・介護」を受けることができる登録情報の共有】

- ・基本情報 : 氏名・住所等、かかりつけ医、病歴 等
- ・処方調剤情報等 : レセコン、電子カルテ、投薬・注射情報 等
- ・臨床検査情報 : 登録医療機関・保険薬局、介護事業所間で
- ・画像検査情報 : レントゲン、CT、MRI・心電図、エコー 等
- ・介護情報 : ケア記録・掲示板の内容 等

※お問い合わせは米ネット事務局へ（魚沼基幹病院内 ☎025-788-0485）
（米ネット事務局資料を編集により小野嶋哲雄作成）



（申込書は市役所・十日町病院、参加医療機関窓口等にあり）

300人を超える加入状況です。独自のPRチラシなども作成し、市民の加入促進に努めているところです。

質問 棚田地域振興法による支援拡充策や地域振興策と当市の新年度予算への準備・取組み状況は。

答弁 補助率の加算や補助金のかさ上げなど、より有利な条件で国の事業メニューが活用できるほか、補助事業の優先採択や事業計画の提出が免除されるみなし認定などの優遇を受けることが可能となります。まずは、棚田地域の指定を目指して地域と話し合い、活動計画を具体的にしながら、必要な予算を適時盛り込み、市議会に提案したいと考えています。



市での働き方改革について 地域農業について

高橋 俊一 議員



質問 職員の業務を安定化し、間違いを減らすために、全国のいくつかの企業や自治体で定型業務の自動化が始まっている。市役所でも、パソコン上で「RPA」（一連の作業内容をシステムに記憶）や「OCR」（光学的文字認識技術）を導入する考えはないか。

答弁 生産年齢人口の減少の中、必要な行政サービスを提供するためには、業務の標準化やAI等の技術により、効果的かつ効率的にサービスを提供する必要があります。先行自治体の事例等を参考に試験導入等を検討します。また、導入に際しては自治体との共同利用はコスト削減などメリットがあるため、国は標準モデルの構築等を進めております。

質問 高齢化が際立っている当市の農業において、新規就農者への新たな支援はあるか。そして、6次産業化やスマート農業推進、さらに園芸農業を少しでも進展させる計画はあるか。

答弁 新規就農者に対して、国及び市の就農支援があります。栽培技術等は市、県、JAが指導しており、今後も現場に寄り添った支援をしたいと思っています。6次産業



スマート農業に向けたドローンによる
葉色診断

質問 地球温暖化・気候変動が大きな課題となっている状況の下、ごみ減量の新たな取り組みとバイオマスプラスチック製ごみ袋導入について伺います。

質問 平成元年、国連は「児童の権利に関する条約」を採択し、平成6年に日本は条約を批准した。連日のように虐待やいじめ等により尊い命が奪われる事件が続発している中で、「第2期十日町市人権教育・啓発推進計画」策定を行っている今こそ「子どもにやさしい条例」制定に取り組むべきと考え、見解を伺います。

答弁 国は、この条約を基本理念とする児童福祉法改正や、保護者や地域など社会の全構成員が役割を果たすことを理念とする子ども・子育て支援法を制定しました。当市は、まちづくり基本条例で、市民の権利や子育て支援に関する役割分担などの方針を定め、市の子育て関連計画は、これら関係法令の理念を根拠にしています。その具現化に向けて実践を重ねることが重要と考え、現時点では新たな条例制定は考えていませんが、引き続き安心して子どもを産み育てられるまちづくりに向けた施策と、子育てに関する意識啓発をさらに進めてまいります。



1人当たりのごみ年間平均排出量335kg
(縦3.5m、横2.7m、高さ0.65m)

答弁 燃やすごみの中から資源化が可能な菓子袋などの分別や回収方法などの検討を進めています。来年度からは、埋立てごみを破碎処理して金属類などの資源物を回収し、さらなる減量化を図ります。現在の指定ごみ袋には、バイオマスが含まれていませんが、米粉15%を含んだバイオマスプラスチック製ごみ袋をエコポイント事業の交換商品として採用しています。今後は温暖化対策への効果、製造コストや安定した供給体制など、指定ごみ袋のバイオマスプラスチック製への転換について検討を進めてまいります。



(仮称)子どもの権利条例・
ごみ減量化対応について

太田 祐子 議員



小学生・中学生・高校生の皆さん 議会を傍聴してみませんか！

西小学校の皆さんが
本会議を傍聴しました

12月10日(火)に西小学校の児童43人が本会議の一般質問を傍聴しました。西小学校では、社会を知る一環として市役所業務の見学と市議会の傍聴を行っています。一般質問の質疑・応答の50分間を緊張しながら傍聴し、熱心にメモを取っていました。児童からは「難しい言葉が使われていた」「真剣に十日町市の将来のことやぼくたち市民のことを考えていて、びっくりした」「国会のような激しいやりとりがあるかと思ったけれど、全然違って安心した」などの感想が寄せられました。

■ 問い合わせ先 十日町市議会事務局
☎ 757-3119 (直通)



6年2組の皆さん



6年1組の皆さん

12月定例会議決結果

議案の審議結果

今回も
じっくり審議
しました!



議案番号等	件 名	付託委員会	採決状況	議決結果
99	専決処分の承認（令和元年度十日町市一般会計補正予算【第4号】）	—	全員賛成	承認
100	人権擁護委員候補者の推薦（石黒良泉（いしくろ りょうせん）氏）	—	全員賛成	同意
101	人権擁護委員候補者の推薦（金澤正道（かなざわ まさみち）氏）	—	全員賛成	同意
102	工事請負契約の締結（次期一般廃棄物最終処分場整備工事）	—	賛成多数	原案可決
103	損害賠償の額を定めること	—	全員賛成	原案可決
104	十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
105	十日町市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
106	十日町市会計年度任用職員の給与等に関する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
107	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	総務文教	賛成多数	原案可決
108	十日町市空家等の適切な管理に関する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
109	指定管理者の指定（越後妻有文化ホール及び十日町市中央公民館）	総務文教	賛成多数	原案可決
110	十日町市老朽住宅等活用交流施設条例を廃止する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
111	指定管理者の指定（十日町市健康増進施設、十日町市川西総合緑地公園、里創プラン川西ステージ及び千手温泉）	産業建設	全員賛成	原案可決
112	指定管理者の指定（ミオンなかさと、ゆくら妻有及び十日町市清津峡渓谷歩道トンネル）	産業建設	全員賛成	原案可決
113	指定管理者の指定（十日町市まつだい芝峠温泉施設、十日町市松代ファミリースキー場及びまつだいいふさと会館）	産業建設	全員賛成	原案可決
114	市道の変更（大石線、大石1号線）	産業建設	全員賛成	原案可決
115	十日町市簡易水道事業及び下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例制定	産業建設	賛成多数	原案可決
116	十日町市健康増進施設条例の一部を改正する条例制定	厚生	賛成多数	原案可決
117	十日町市児童遊園地条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
118	指定管理者の指定（十日町市身体障がい者福祉センター）	厚生	全員賛成	原案可決
119	指定管理者の指定（川西高齢者コミュニティハウス）	厚生	全員賛成	原案可決
120	令和元年度十日町市一般会計補正予算（第5号）	—	全員賛成	原案可決
121	令和元年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
122	令和元年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
123	令和元年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決
124	令和元年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
125	令和元年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
126	令和元年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
127	令和元年度十日町市水道事業会計補正予算（第3号）	—	全員賛成	原案可決
128	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	—	全員賛成	原案可決
129	令和元年度十日町市一般会計補正予算（第6号）	—	全員賛成	原案可決
請願	2 免税軽油制度の継続を求める請願	総務文教	全員賛成	採 択
	3 基礎年金の改善と年金の毎月支給を求める請願	厚生	委員会賛成少数	不採 択
議会提出議案	14 免税軽油制度の継続を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	15 賀詞	—	全員賛成	原案可決
	16 議員派遣（新潟県市議会議長会春季定期総会）	—	全員賛成	原案可決

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、－：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成（起立）	反対（着席）	いしづえ 礎					自由の風					だ い ち			日本共産党 十日町市議団		さ く ら			さん 三 矢 会			鈴木一郎	
				小林弘樹	福岡哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻 誠	山口康司	根津年夫	庭野政義	吉村重敏	樋口利明	小林正夫	小野嶋哲雄	太田祐子	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢 繁	遠田延雄	高橋俊一	大嶋由紀子	村山達也		小林 均
102	原案可決	18	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
106	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
107	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
109	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
115	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
116	原案可決	20	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※

12月定例会

会期 12月6日～16日（11日間）

審議結果は、前ページに掲載

一般会計補正予算
災害対策費を追加
災害復旧に尽力

1 土木施設の災害対策費を追加

9186万円を補正予算
4号で計上しました。

事業の対象は、道路47

松之山天水越地内の土砂崩れ

カ所、河川7カ所
合わせて54カ所
す。地域では松之
山地域18カ所、中
里地域12カ所、川
西地域9カ所、松
代地域9カ所、十
日町地域6カ所で
す。

財源の主なもの
は、国庫補助金3
200万円、地方
債4640万円で
す。

2 農林業の災害対策費を追加

所です。地域では松之地域73カ所、中里地域54カ所、十日町地域42カ所、松代地域33カ所、川西地域4カ所です。

財源の主なものは、

財源の主なものは、

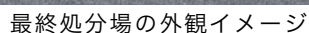
県支出金（国から県を経
由して市へ）2億8千万
円、地方債2億6千万円
です。

次期一般廃棄物
最終処分場整備
工事

業となっております。市内で排出される埋立てごみや焼却灰を適正に管理していくために建設するもので、用地は約2・4畝です。工事概要はごみを埋立てる本体部分として

幅40^{センチ}、長さ85^{センチ}、深さ15^{センチ}、容量3万4千立方^{センチメートル}の鉄筋コンクリート製の構造物とそれを覆う建屋及び汚水処理施設を整備するものです。

質疑の中で、決定の経



当局から、環境省の指導によつて総合評価方式を採用し落札者を決定したこと。

審査に際しては業者名を伏せて公平に評価していること。

最低価格より9020万円高い提案となっているが今後のランニングコストを含めて評価したところなどの答弁がありました。

採決の結果、賛成多数で可決されました。

新年度予算の編成作業について

各会派の意見・要望を提出

十日町市では、市町村合併に伴う地方交付税優遇措置の是正期間の終了を見据え、持続確実な財政運営を実現するため、令和2年度の予算編成作業を進めています。

12月16日には、各課等で検討している「主な事業の予算要求概要」が市議会全員協議会で示され、12月24日に、市長同席のもと、当局が示した予算要求概要について、各会派の意見・要望が出されました。

各会派からは、事業継続や事



所信を述べる市長（12月24日）

業の充実を求める意見、事業の効果が疑問視される事業については説明が必要との意見、廃止が予定される制度・事業については複数年かけての激変緩和が必要との意見など複数の意見や要望が出されました。また、予算減額に伴い事業継続が懸念される意見が出された一方、持続可能な行政運営のための予算への取り組みを評価する意見もありました。

市長からは、会派から出された意見を受け止めて対応すること、市民アンケートの実施結果も精査していくこと、地域の理解のもと遊休施設への対応を行うこと、合理性・公平性の観点から使用料の適正化を図っていくこと、実施している各種サービス等についてより適切な手法はないかという観点で見直しをしていくこと、このような見直しや対応により予算編成の責任を果たすという所信が表明されました。

表紙写真について

今月号の表紙は十日町総合高校写真部の作品です。

十日町総合高校写真部



十日町総合高校写真部は現在2年生4人1年生1人計5人で活動を行っております。少ない人数ではありますが、個人個人活発に部活をしています。部活内でのコミュニケーションを心掛けお互いアドバイスをし合ったり、作業のやり方を教え合ったりなどしています。今年も様々なコンテストに参加し、多くの賞がとれるように部員全員で頑張っていきたいと思います。

へー、
そうなんだ

会派とは

議会内で基本的な政策が一致する議員の集団のことをいいます。会派では市政について議論を行うとともに、調査研究活動などを行っています。当市議会では、3人以上の所属議員で構成することとしています。



3月定例会の予定

3月初旬からです。詳しい日程は2月下旬の議会運営委員会で決まります。決まり次第市のホームページでお知らせします。

あとがき

新しい年が始まり、早いと月が経ちました。

何回目かの今年の正月は、いかがでしたか？あなた様は、今年はいくつめの「とし」をお迎えでしょうか？私は高齢者といわれる「とし」になり、初めての正月を迎えました。あと何回春の桜を見られるかな？の心境も一隅に。

今年は起承転結の、転から結の「とし」。今年しかできない仕事、「仕える事」をし合いたいものです。互いの「とし」を思いながら。

樋口利明

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp